

# 温故創新 Vol.12

豊中らしさを創る



編集・発行／豊中から日本を動かす会

駅前・街角での3秒間の出会いを、無限大の関係に！日々の活動などはホームページで。

<http://matsuoka-akimichi.net>

無所属 27歳

まつおかあきみち

豊中市議会議員

## 松岡信道と、もっと市議会！

### 修学旅行の下見を指摘

豊中市立の中学校（18校のうち12校）で修学旅行の下見を2回実施していることがわかりました。他市の状況を調査しても、下見を2回実施している市町村はほとんどありませんでした。これについて12月議会で指摘し、改善を求めました。

#### 教育委員会の見解は…

・修学旅行の下見にかかる費用は府費負担出張旅費であるため、豊中市が制度的に監督できない。

・下見を2回実施しているのは、子どもたちの安全のためであり、校長が現場の責任者として判断している。

#### 府費負担出張旅費って？

学校の先生は大阪府が採用しており、給料や経費は大阪府が負担しています。したがって、修学旅行の下見や研修に必要な出張費用は大阪府が監督しており、費用は各学校から大阪府へ報告され、残金は大阪府へ返還します。

#### 校長先生の立場にならざるを得ない

現場責任者である校長は、修学旅行を無事に終えなければならぬので、万全の準備をしたくなります。したがって、現場から下見2回の申し出があれば、子どもの安全のためにお金を使うのは当たり前で、校長の責任を果たさなければいけない立場は理解できます。

### 松岡の指摘したポイント

① 学校が安定していなかったり、下見に行った先生が異動になったりして、下見を2回実施することが必要なこともあります。しかしながら、豊中市の下見が過度であることは事実であることから、改善を求めました。

② 積極的な先生が勉強するために、自己負担を軽減してあげないといけません。社会人として、先生として研鑽するために、府費負担出張旅費を有効活用するよう求めました。

#### 勉強する先生、しない先生

子どもたちが夢をもつためには、先生が見聞を広め、色んなことを子どもたちに教えてあげないといけません。学校現場が多忙であっても、先生には学校を出て、広く社会のことを勉強して欲しいのですが、残念ながら、先生によって個人差があります。自費で勉強している先生もいれば、公費であっても勉強しない先生もいます。公費であっても勉強しない先生は、言語道断です。

#### 松岡のこれから取り組み

下見の実施回数が本場に適切であるか、毎年チェックしていきます。そして、府費負担出張旅費の使途については、大阪府に対して検討を求めます。先生の研修制度についても勉強していきたいと思えます。

### 学校給食の安全性について

学校給食の安全性を確保するため、給食食材のトレーサビリティ（いつ、どこで作られ、どのように運ばれたかを説明できること）を求めました。現在の給食食材のほとんどは、大阪府の財団法人によって大量仕入れすることでコストダウンを図っています。しかしながら、仲業者が多くなるほど、トレーサビリティの実現は難しくなり、安全性を担保することができません。

#### 食品偽装による不安解消のために

食品業界の消費期限の改ざんや産地詐称などで、食に対する不安が高まっています。今年になって毒入り餃子が学校給食で使われていたという報道がありました。豊中市の学校給食は一連の問題に関わりません。しかしながら、こんな時代だからこそトレーサビリティが求められるのではないでしょうか。

#### 地元の食材をつかう

北摂には大阪の米所がありますから、地元食材を利用することでトレーサビリティを実現することができます。子どもたちにとって、パン給食は①原油価格の高騰で小麦価格にも影響が出るかもしれませんし、②小麦アレルギー対応も必要になります。また、③ほとんど輸

#### 略歴

市立 しんでん幼稚園  
市立 南丘小学校  
市立 第九中学校  
府立 北野高等学校  
同志社大学法学部政治学科  
池田市長、茨木市議インターンシップ  
箕面市公募委員（公共下水道）  
大阪府信連職員（JAバンク大阪）

#### 現在

無所属/ネクスト豊中  
豊中市議会議員（最年少27才）  
文教常任委員  
行財政改革・地方分権特別委員  
養護老人ホーム組合議会議員  
豊中ラグビースクールコーチ  
NPO 法人 JASSE 代表理事

入に頼っている小麦のトレーサビリティを実現することは不可能です。このような点から、安心安全の学校給食にするため、米飯給食の回数を増やすことが求められます。地元食材を利用すると、輸送費が軽減され、地球温暖化を助長しないメリットもあります。

しかしながら、**豊中市が独自のトレーサビリティを確立するためには、コストがかかるでしょうから、給食費のことも検討しながら、進めていかなくてはなりません。**

### 給食について

給食を食べるのは子どもたちですから、子どもたちの食生活を考えて学校給食を実施する必要があります。食生活の変化により、朝食はパンの家庭が多くなってきました。大人は昼食を自由に選ぶことができますが、**子どもたちは「朝もパン、昼もパン」になってしまいます。**



また、主食の食べ方も考えなくてはなりません。ご飯は米と水だけで炊き、調味料をしません。一方、パンは小麦に砂糖や塩、バターが使われています。さらにマーガリンやジャムをぬって食べますから、**ご飯と同じ炭水化物とはいえ、摂取している栄養分は異なります。**

### インターンシップ2期生の紹介

「開かれた議会」を目指して実現した議員インターンシップ。その2期生として、5人の学生を受け入れました。議員の仕事を知ってもらうとともに、2か月間、一緒に活動していきます。ひきつづき、インターンシップ生を募集しておりますので、ご関心のある方は下記まで、ご連絡ください。ご参加をお待ちしています。

- 大阪大学 蔵裕介
- 大阪大学 田辺亮太
- 関西大学 笹久保智尋
- 立命館大学 東出彩子
- 立命館大学 山田梓

### 幼保・小の連携／中高の連携

幼稚園・保育所から小学校に進学すると、子どもたちは、チャイルドによる学びの生活になります。新しい生活に慣れなければ、不登校などの問題となるので、就学前から連携が必要になってきます。

中学校(市教委)と高校(府教委)では行政機関が違います。昨春より第一学区と第二学区が統合し、中学生が選択できる高校の数は増えました。しかしながら、中学生に高校の情報がなければ、混乱を招きます。そこで、幼保・小連携と中高連携が大きな課題であることを議会で質問しました。

### 幼保・小の連携について

豊中市には幼保小連絡協議会があり、公私立を問わず、幼稚園・保育所・小学校の先生が中心となつて、これまでも幼保・小の取り組みが、実施されました。就学前に体験入学をしたり、交流行事をすることで、進学する子どもたちが小学校に慣れるように取り組んでいます。こうした取り組みを知ってもらうために、市教委は3月24日〜28日まで市役所第二庁舎一階ロビーにて、展示会を行います。

### 中学校と高校の連携について

中学校などで開かれる地域のイベントを通じて、豊中市内の高校とは交流があるものの、市外の高校とは交流があまり活発でないのが事実です。また、塾やハローワーク、NPOなどの第三者によって、中高の連携が助けられているのも事実です。子どもたちが主体的に学校を選択できるように、高校との連携を強化し、情報を取得できる環境整備を求めました。

### 第九中学校と北野高校の連携をプロデュース

私はNPO法人JASSEの代表として、大学生の頃からボランティア活動をしてきましたが、議員活動を通じて気づくことができた中高連携について、NPOとして取り組みました。豊中市外の高校との連携活性化にむけて、北野高校化学研究部のみなさんに、豊中第九中で「化学ふしぎ発見」と題した実験教室を開講していただきました。

### 子どもたちの理科離れを防ぐために

学校の授業のなかで難しいイメージが先行する理科。子どもたちの理科離れが社会問題となる中で、理科に関心が持てるような授業が求められています。「先生ではなく、歳の近いお兄さんお姉さんから教えてもらうほうが、理解が深まるのではないか」という私の発想でNPOとして企画立案しました。一瞬で燃える硝化綿、液体窒素で凍ったバラ、ガラスと銀で鏡づくりなど、理科の授業では扱わない内容で二時間、高校生が中学生に授業をしてくれました。

授業を終わった九中生からは「理科がこんなに楽しいと思わなかった、またやってほしい」「鏡がガラスから作られるなんて、はじめは信じられなかった」「高校生から教えてもらったのでよかった」など、たいへん好評いただきました。こうした経験を議員活動にも反映させて、中高連携が豊中市で充実するように、行政へ求めていきます。

### 市政相談所を開設しました

至池田  
至豊中

国道176号線

蛭池駅

- 信金 津水 さん
- 郵便局 蛭池 さん
- 市政相談所

選挙事務所をおいた蛭池に再び事務所を設けることができました。東口へ出て徒歩30秒です。国道沿いの一階ですから、すぐわかります。常駐できませんが、ご連絡いただけたら、お待ちしております。近くまでお越しの際は、気軽にお立ち寄りください。今後ともご支援いただけますよう、よろしくお願いいたします。

※ご意見ご感想をお聞かせください。  
TEL:06-7178-7785 (携帯へ転送します)  
FAX:06-6871-0632 (後援会事務所)  
Mail:office@matsuoka-akimichi.net